

# 第 1 2 期 事 業 報 告 書

令 和 4 年 度

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団  
東京都千代田区九段南三丁目2番7号

## 目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

# I 事業の状況

## 1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額72,321,829円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は、順調に遂行され、事業費は総額192,591,881円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修において、インターネットを使用したオンデマンド配信において集中講義を行い、また実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の受賞者座談会記録を作成した。
- (6) CKD（慢性腎臓病）医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPSにおいては、第7期調査を完了し、第8期調査の準備を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 45を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 66、VOL. 67を発行した。
- (10) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、前年度に引き続き令和4年7月より慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための新しい公共広告を展開した。
- (11) 「CKD予防のための市民公開セミナー」をオンラインで開催した。
- (12) 令和4年10月、厚生労働省、北海道などが行った臓器移植普及推進月間行事、臓器移植推進国民大会に主催として協力した。
- (13) 総事業費支出に対する助成金支出率は28.5%である。  
期末基本財産は903,087,746円である。

## 2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額72,321,829円の募金を行った。

## 3. 賛助会員

- (1) 令和5年3月末の会員数は815会員（938口）となり、内訳は次の通りである。

### 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口50,000円）

特別会員 a（10口以上） 1会員（10口）

特別会員 b（5～9口） 3会員（16口）

一般会員（1～4口） 625会員（670口）

### 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口25,000円）

一般会員（1～4口） 50会員（56口）

### 3) 個人会員 個人（1口10,000円）

特別会員 a（10口以上） 1会員（10口）

特別会員 b（5～9口） 6会員（30口）

一般会員（1～4口） 129会員（146口）

(2) 令和4年4月～令和5年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 22会員(36口) (敬称略・順不同)

特別会員a (10口以上)

島根・医療法人 徳洲会 出雲徳洲会病院

一般会員 (1～4口)

山形・医療法人 徳洲会 山形徳洲会病院

山形・医療法人 徳洲会 庄内余目病院

東京・医療法人 徳洲会 武蔵野徳洲会病院

東京・医療法人 徳洲会 東京西徳洲会病院

神奈川・医療法人社団 観世会 腎健クリニック

神奈川・医療法人 徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院

茨城・医療法人 徳洲会 古河総合病院

埼玉・医療法人 徳洲会 羽生総合病院

埼玉・医療法人 徳洲会 皆野病院

長野・キッセイ薬品工業株式会社

山梨・医療法人 徳洲会 白根徳洲会病院

静岡・医療法人社団 望洋会 横山医院

岐阜・医療法人 徳洲会 大垣徳洲会病院

大阪・医療法人 永令会 大川VA透析クリニック

大阪・医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院

大阪・医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院

京都・医療法人 仁心会 宇治川病院

鹿児島・医療法人 徳洲会 鹿児島徳洲会病院

鹿児島・医療法人 徳洲会 屋久島徳洲会病院

鹿児島・医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院

鹿児島・医療法人 徳洲会 名瀬徳洲会病院

2) 団体B会員 2会員(3口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

静岡・やまぎし腎クリニック

静岡・静岡徳洲会病院 内科医局

3) 個人会員 6会員(7口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

宮城・上月 正博

千葉・伴野 松次郎

千葉・小池 健太

埼玉・門野 澄雄

愛知・松尾 清一

(他1名)

#### 4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題および研究会、学会に対して47,448,000円の助成を行った。

(1) 研究助成 (敬称略)	10 案件	33,903,000円
1) 日欧米心臓血管外科研究交流会 京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座心臓血管外科・ 湊谷 謙司		3,848,000円
2) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会 東京女子医科大学・新田 孝作		7,315,000円
3) 電解水透析研究会 聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明		950,000円
4) 腎泌尿器癌研究会 東京女子医科大学 泌尿器科・高木 敏男		17,000,000円
5) 日本女性腎臓病医の会 京都華頂大学 現代家政学部 食物栄養学科・武曾 惠理		793,000円
6) 高知県腎泌尿器疾患研究会 高知大学医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史		1,000,000円
7) 腎不全研究会 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科・深川 雅史		1,000,000円
8) 兵庫慢性腎臓病対策研究会 兵庫医科大学 内科学 腎透析科・倉賀野 隆裕		500,000円
9) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会 医療法人社団 韃生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・ 佐中 孜		500,000円
10) 東京腎臓病対策研究会 東京女子医科大学 腎臓内科学・星野 純一		997,000円
(2) 学会助成 (敬称略)	9 案件	13,545,000円
1) ポドサイト研究会 (第7回) 埼玉医科大学 リウマチ膠原病科・ 梶山 浩		114,000円

- |   |              |
|---|--------------|
| 2) 日本腎臓リハビリテーション学会学術集会<br>(第13回) 埼玉医科大学 総合診療内科・<br>中元 秀友              | 3, 638, 000円 |
| 3) 国際IgA腎症シンポジウム<br>(第17回) 順天堂大学医学部 腎臓内科・<br>鈴木 祐介                    | 1, 225, 000円 |
| 4) 日本急性浄化学会学術集会<br>(第32回) 埼玉医科大学 総合診療内科・<br>中元 秀友                     | 95, 000円     |
| 5) 腎移植・血管外科研究会<br>(第37回) 藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科学教室・<br>白木 良一                | 2, 375, 000円 |
| 6) 日本腎不全外科研究会学術集会<br>(第32回) 医療法人社団 クレド さとうクリニック・<br>佐藤 純彦             | 427, 000円    |
| 7) 日本腎不全看護学会学術集会・総会<br>(第25回) ホスピースグループ・<br>宮下 良子                     | 2, 840, 000円 |
| 8) 日本臨床栄養学会・日本臨床栄養協会・大連合大会<br>(第44回・第43回・第20回) 岩手医科大学 外科学講座・<br>佐々木 章 | 2, 603, 000円 |
| 9) 東腎協50周年記念事業<br>東京腎臓病協議会・<br>戸倉 振一                                  | 228, 000円    |

## 5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、CKD（慢性腎臓病）病態研究助成として、「腎性貧血」「腎性骨症」に対する研究助成

令和4年11月9日、Zoomを使用したオンラインにて開催した選考委員会に於いて、令和4年度対象者下記10名に対して9,500,000円の助成を決定した。

(敬称略)

- ・東京大学大学院 慢性腎臓病病態生理学講座 長谷川 頌
- ・自治医科大学 分子病態治療研究センター 循環病態・代謝学研究部 武田 憲彦
- ・名古屋市立大学 腎臓内科 村島 美穂
- ・金沢大学大学院 腎臓内科学・腎病態統御学 清水 美保
- ・大分大学医学部附属病院 腎臓内科 福田 顕弘
- ・徳島大学大学院 医歯薬学研究部・応用栄養学分野 瀬川 博子
- ・大阪大学大学院 腎臓内科学 井上 和則
- ・九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 山田 俊輔
- ・東海大学医学部 内科学系 腎・代謝内科学 駒場 大峰
- ・大阪公立大学大学院 ゲノム免疫学 宮岡 大知

## 6. 調査研究事業

腎疾患患者さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究として、J-DOPPS（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）第7期調査の実施・完了および第8期調査の準備

- (1) 令和4年9月にJ-DOPPS第7期調査研究はデータ収集を終え、12月に研究実施施設へ調査費用支払等、完了に伴う業務を行った。
- (2) 第8期の準備として、研究参加施設のリクルート、研究計画書、調査票および契約書等の検討・作成を行った。
- (3) 令和4年7月3日、第67回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムをハイブリッド形式にて開催し、参加者は来場者178名、視聴者280名であった。
- (4) ステアリング委員会
  - 1) 令和4年5月30日、Zoomを使用したオンラインにて、論文化支援グループ担当SCについて話し合った。
  - 2) 令和4年8月29日、Zoomを使用したオンラインにて、J-DOPPS第8期調査票の内容および協賛企業からの研究申請について話し合った。
  - 3) 令和4年12月8日、Zoomを使用したオンラインにて、第68回日本透析医学会 DOPPSシンポジウムプログラム、J-DOPPS第8期CRO、ERBの選定および協賛企業からの研究申請について話し合った。
  - 4) 令和5年1月18日、Zoomを使用したオンラインにて、第68回日本透析医学会 DOPPSシンポジウムプログラムおよび公表に関する内容について話し合った。
  - 5) 令和5年3月20日、Zoomを使用したオンラインにて、J-DOPPS第8期調査票・研究計画書について話し合った。
- (5) 研究論文作成支援プロジェクト J-DOPPS CLIP  
令和4年5月6日、Zoomを使用したオンラインにて、J-DOPPS CLIP2021のRQ採択会議を開催し、次の2名のリサーチクエスチョンを採択した。

- ・福島県立医科大学大学院 医学研究科 臨床疫学分野 西脇 宏樹
- ・東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 本多 佑

- (6) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDOPPS PRACTICE MONITOR (DPM)を公開した。

## 7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者に対する透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

- (1) 令和4年8月1日～31日・9月10日～10月31日の期間中、インターネットを使用したオンデマンド配信にて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師を対象に集中

講義を行った。実習希望者には、全国170の実習施設指定施設において、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は1,087名、そのうち実習修了者209名に対し、修了証書を交付した。

- (2) 令和4年12月1日、Zoomを使用したオンラインにて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和4年度の報告と令和5年度の企画立案を行った。

## 8. 褒賞事業

腎臓学の研究に関する注目すべき業績に対する褒賞

- (1) 令和4年10月25日、Zoomを使用したオンラインにて褒賞選考委員会を開催し、令和5年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の3名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞 御手洗 哲也（埼玉医科大学 名誉教授）

学術賞 河内 裕（新潟大学大学院 医歯学総合研究科  
腎研究センター腎分子病態学分野 教授）

学術賞 柳田 素子（京都大学大学院 医学研究科 腎臓内科学  
教授）

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

(敬称略)

功 勞 賞 佐 中 孜（東京女子医科大学医学部 元教授）

令和5年2月17日、Zoomを使用したオンラインにて令和5年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

- (2) 令和4年8月22日、Zoomを使用したオンラインにて令和4年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会録を雑誌「腎臓」VOL. 45に収録した。

## 9. 雑誌発行事業

- (1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究の情報などを掲載した雑誌の発行

1) 雑誌「腎臓」VOL. 45を3,300部発行し、関連医療施設に無償で配布した。

2) 令和4年8月17日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 45及び今後の企画について話し合った。

- (2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん・およびご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症等、日々の治療・生活に役立つ雑誌の発行

1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 66、VOL. 67を各38,000部発行し、関連医療施設に



無償で配布した。

- 2) 令和4年8月30日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL.67および今後の企画について話し合った。

#### 10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

- (1) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、前年度に引き続き慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告を展開した。

- (2) CKDセミナー オンライン

令和5年2月25日、朝日新聞社スタジオにおいて、『CKDセミナー「えっ！？8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、884名の参加者を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーをオンラインにて開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日新聞デジタルに記事を掲載した。

- (3) 冊子作成

慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存じですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を6,500部作成した。

#### 11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、臓器移植を推進するための協力

令和4年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月29日、北海道ウイステリアホールにて開かれた第23回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、北海道、日本臓器移植ネットワークと共に主催として協力した。

## Ⅱ 処 務 の 状 況

### 1. 役員に関する事項

#### (1) 役員

令和4年5月27日現在（50音順）

会 長	高 部 豊 彦	元東日本電信電話株式会社 代表取締役社長、 日本郵便株式会社 社外取締役
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社 会長、 橋本総業ホールディングス株式会社 社外取締役
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所 所長
理 事	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
理 事	伊 藤 貞 嘉	公立刈田総合病院 特別管理者
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人 顧問
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会 政策委員
理 事	中 山 恒 博	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式 会社取締役、三井不動産株式会社 取締役
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 理事長
理 事	平 田 純 生	I & H株式会社 学術研修部 学術顧問
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック 理事長
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所 所長
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック 院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第33回理事会 令和4年5月27日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 特定費用準備資金取扱規程 一部改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 設備投資および資金調達承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 令和3年度(自 令和3年4月1日から 至 令和4年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	5. 寄付金受入れ並びに助成金交付取扱い規程 一部改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
第34回理事会 令和5年2月17日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和5年度(自 令和5年4月1日から 至 令和6年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. J-DOPPS ステアリング委員会規程・調整委員会規程 一部改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 一般寄付金受入れ承認の件	原案どおり 満場一致で可決

## 2. 評議員に関する事項

### (1) 評議員

令和4年6月17日現在（50音順）

氏名	勤務地
安藤 亮一	医療法人社団石川記念会 顧問
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック 理事長
伊藤 秀一	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 主任教授
上田 善彦	獨協医科大学 名誉教授
内田 明子	聖隷佐倉市民病院 総看護部長
大石 義英	東亜大学医療学部医療工学科 教授
鎌田 直博	特定医療法人あかね会土谷総合病院薬剤部 師長
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科 客員教授
小林 修三	医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院 院長代行
小林 美奈	弁護士、古賀総合法律事務所
西 慎一	神戸大学大学院医学研究科腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門 教授
西沢 邦浩	日経BP社日経BP総研メディカル・ヘルスラボ 客員研究員
新田 孝作	東京女子医科大学 名誉教授
長谷川 芳樹	弁理士、創英国際特許法律事務所 所長
深川 雅史	東海大学医学部内科学系腎内分泌代謝内科 教授
八木澤 隆	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 病院長
山本 裕康	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 教授
和田 隆志	国立大学法人 金沢大学長

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議案	議事結果
第26回評議員会 令和4年6月17日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和3年度(自令和3年4月1日から至令和4年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
第27回評議員会 令和5年2月17日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和5年度(自令和5年4月1日から至令和6年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決

3. 許可・認可に関する事項

該当事項なし

4. 契約に関する事項

該当事項なし

5. 登記に関する事項

令和4年7月12日、会計監査人の重任登記を行った。

6. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

7. その他特記事項

該当事項なし

以上

令和4年度事業報告附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。